

■企画展：“私のシベリア 私の祖父” 祖父・川田一一 孫・千田豊実の二人展

シベリア抑留4年間の体験を、シベリアの地に眠る同胞のためにも絵に残そうと、15年前の70歳になってから描き始めた川田一一(かわだかずいち)。祖父と同じ15年前に絵を始めた孫の千田豊実(せんだとよみ)。

あれから15年が経ち、生きて帰れなかった仲間の鎮魂のため描き続ける祖父と、生き残った者の宿命と向き合う祖父の姿を追う孫の二人展。今から61年前に祖国に第一歩を印し、初めて生存を確認したこの地“舞鶴”での作品展。

- 作 品： 川田一一 「帰雁」「異国の丘」ほか 千田豊実 「生き続ける鼓動」「鎮魂との対話」ほか
- 会 場： 企画展示室
- 会 期： 平成22年11月6日(土)～平成23年2月13日(日)まで



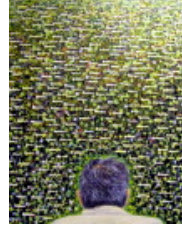
川田一一「帰雁」



川田一一「異国の丘-月照」



千田豊実「生き続ける鼓動」



千田豊実「鎮魂との対話」